

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズサポートてんとうむし				公表日	2024年 12月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	4	・指定基準内です。 ・利用者の体の大きさや職員の動線を考えて、配置を工夫しています。	法人の課題として、放課後等デイサービスの活動場所の拡大を検討していく必要があると考えています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	14	1	・定員及び職員配置数は指定基準内である。 ・日々の職員配置について、担当や休憩時間をボードに記載し、各自が確認のうえスムーズに動けるようにしています。 ・外出する日などは、スタッフの休憩の取り方に調整が必要となるが、見守り体制を整えて全体調整をしています。	引き続き、その日ごとに予定を確認しながら体制を整えていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	2	・活動室全体が見渡せることや、視覚で情報をとらえることができる工夫等を行っています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	16		毎日、衛生面に十分配慮した清掃を心がけ、遊具や本などの配置を工夫しています。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	3	・スペースは限られているがパーティション等で区切るなどして対応しています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	16		・全職員が参加の会議を毎月開催し、目標設定や振り返り、今後の対策等について共有や意見交換を行っています。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15		・毎年、児童発達支援管理者及び管理者による個別面談を実施し、その中で保護者等の意向等を把握し、必要に応じて会議を通して改善を図っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	・定期的に会議や話し合いの場を設けており、意見の収集や業務改善に向けての検討を行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	12	3		・現在は第三者評価等は実施していません。今後の検討課題とします。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	15		・定期的に研修を開催し、資質向上を図っています。	・職員一人一人が自己研鑽を意識し、全体のスキルアップにつなげていきたいと考えています。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	15				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16			・アセスメントについては、もう少し工夫や見直しを行っていく必要があるため、ツールやケース会議の持ち方を検討していきたいと思っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	16				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	16				

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	14	2	・気づきシートや個別支援実施シート等を活用しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	15			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16		・様々な活動ができるよう工夫されている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	16			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13	2	放課後の時間での支援及び帰りの送迎対応のため、支援終了後の時間に打ち合わせを行うことが難しいため、翌朝に申し送りの時間を設定し、前日の支援の振り返りを行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	14			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	16				
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	16			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	16			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	15			・児童発達支援との移行会議を設け、情報共有を図っていく予定です。（2～3月に実施予定）
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	15	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	7	・近隣の中学校からボランティアとして来てもらい一緒に活動しています。	・児童や学生のボランティア導入をさらに広げていきたいと考えています。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	12		・市内および他市の医療的ケア児支援関係者会議に出席し、自治体との連携について意見交換や情報共有を図っています。	・引きつづき、会議等に参加し、自治体や関係機関との連携を図っていきます。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	15		・送迎時や必要に応じてごまめにご家族と連絡を取りあい、日頃の状況や共通理解に向け努めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10	4	・法人主催により、保護者向け学習会を開催しています。	・保護者向け学習会等の機会を定期的に開催できるように計画していきたいと考えています。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	15		・契約時に説明し、理解を得ています。	未回答1
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15		・個別面談等で意向を確認しながら、作成をすすめています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	16			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	15		・定期面談のほか、ご家族からの要望に応じて、訪問や面談を実施しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	16		・今年度、父母主催による親の会「重症心身障害児者の会・つなぐ」を設立しました。	・引きつづき、「重症心身障害児者の会・つなぐ」については、法人も支援していきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	15		・管理者が迅速に対応できる職員体制をとって対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16		・からんころんの発行、保健だより、SNSでの発信などを積極的に取り組んでいます。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	5	・地域の活動団体との交流は定期的に行なっています（りんちゃんお花クラブなど）。	・地域住民との交流等は、今後の検討課題とし、取り組んでいきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15		・BCPの策定や災害時を想定した避難訓練について、年間計画に組み込んで実施しています。	BCPに基づいた研修や訓練を年間計画に組み込み、継続的に実施できるよう取り組んでいます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	16		・看護職員を中心に、職員同士で服薬の確認や緊急時の対応などを確認し、必要に応じて実技訓練等を実施しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	15	1		・災害時マニュアルおよびBCPに基づき、支援が実施できるように、研修や訓練を行う計画です（2025年2月予定）
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	15	1		・研修・訓練結果を踏まえ、年度内の個別面談で周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15		・ヒヤリハット事案が発生した時点でスタッフ間で共有し、朝の申し送りや会議で情報共有し、対策についての検討をすすめています。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	15		・毎年、虐待を防止するための研修を開催しています。		

	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	15	<ul style="list-style-type: none"><li>・個別支援計画書にも記載したうえで、やむを得ず実施した場合は、サービス提供書に記載しています。</li><li>・毎年、身体拘束対策についての研修を開催しています。</li></ul>	
--	----	--	----	--	--